

## 第 54 回若手研究者・院生情報交換会 報告

テーマ : 社会福祉研究におけるデータ収集と分析のポイント

開催日時 : 2023 年 12 月 9 日 (土) 14:00~17:00

会場 : 花園大学 返照館 200 教室 (対面開催)

報告 : 神部 智司 (花園大学)

2023 年 12 月 9 日 (土) の 14 時より、第 54 回若手研究者・院生情報交換会が「社会福祉研究におけるデータ収集と分析のポイント」をテーマとして花園大学で開催されました。会場での対面開催のみで web 配信が行われなかったにも関わらず、大学院生を中心に合計 32 名の方々にご参加いただきました。

最初に、関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロック担当理事の所めぐみ氏 (関西大学) より、大会開催のご挨拶をいただきました。続いて、神部が「データ収集と分析のポイント」と題する教育講演を行いました。本講演では、研究に必要不可欠な量的データおよび質的データをどのような方法で収集し、分析していくのかについての概略を説明させていただきました。また、質的研究と量的研究の両方を用いてデータの収集と分析を行い、それぞれの研究結果を融合して知見を見出ししていく混合研究法 (ミックスメソッド) の基本的なデザインについて紹介させていただきました。

教育講演に続いて、3 名の方々より「量的研究」「質的研究」「歴史研究」のそれぞれのお立場からご報告いただきました。まず、第 1 報告者の小松亜弥音氏 (国立長寿医療研究センター) より、「量的研究」におけるデータ収集と分析のポイントについてご報告いただきました。小松亜弥音氏は、要介護高齢者とそのご家族、要介護高齢者のケア専門職を研究対象として、エンドオブライフケア、意思決定支援の実態と促進・阻害要因、ウェルビーイング、QOL 向上に資する要因等に関する量的研究に取り組んでこられた経験から、量的研究では“設計”、すなわち「研究目的・リサーチクエスションと、実施可能性をすり合わせて、どのようなデータをどのように収集し、分析するのかを決めること」の大切さを強調されました。また、量的データの収集と分析における具体的な方法を列挙して説明されるとともに、量的研究の難しさでもある「尺度作成」「回収率の向上」「二次分析」「実査準備」に取り組むうえでの方法や留意点について、丁寧かつ分かりやすく整理していただきました。

次に、第 2 報告者の梅谷聡子氏 (花園大学) より、「質的研究」におけるデータ収集と分析のポイントについてご報告いただきました。梅谷聡子氏は、質的研究における「ものの見方」の重要性について言及されるとともに、児童養護施設退所者のライフストーリーにおけるレジリエンス、さらには児童養護施設職員の自立観や自立支援、アフターケアについて、半構造化面接によるインタビュー調査を中心とした質的研究に取り組まれてきた経験を踏まえて、質的データ分析の調査方法と分析方法、分析ソフト (MAXQDA) の活用例、分析

結果の提示方法などについて、詳細かつ具体的に説明していただきました。また、質的研究のポイントとして「問い」に従って適切なデータを収集すること、コード化のセンスを磨くこと、時に調査データと距離を取りながら分析することの必要性について提案していただきました。

そして、第3報告者の梅木真寿郎氏（花園大学）より、「歴史研究」におけるデータ収集と分析のポイントについてご報告いただきました。梅木真寿郎氏は、歴史研究のデータとなる「史料」の意味と具体例、限界性について詳しく説明されるとともに、人物史における輪郭の確定作業として、人物の基本情報に関するデータの収集、社会的思潮に関する基本的理解、時期区分の設定が大切であることを強調されました。また、社会福祉の歴史研究、特に人物史とは「その人物と対話するということ」であること、そして、歴史の中に存在している社会福祉の思想は、現代の社会福祉をより豊かなものにするという意義を有することについて分かりやすく話していただきました。

上記3名の方々によるご報告に続いて、福富昌城氏（花園大学）の司会進行のもと質疑応答が行われました。参加者の方々から寄せられたデータの収集と分析の方法の選択基準や留意点などに関する質問に対し、3名の報告者より適切かつ有用な回答がなされるとともに、若手研究者・院生の皆さんがデータを用いた研究を今後進めていくための示唆に富んだ提案がなされました。また、本情報交換会の終了後に開催された名刺交換会では、参加者同士や3名の報告者との間で積極的な情報共有や意見交換が行われ、盛会のうちに終了となりました。

最後になりましたが、本情報交換会の開催にあたりまして多大なご協力を賜りました学会員の方々、そして関係者の方々に心よりお礼申し上げます。